


平成17年3月期 中間決算

＜ 補 足 資 料 ＞

平成16年11月1日(月)

 塩野義製薬株式会社

① 業績予測

< 連結 >

(単位億円)

	16年上期 実績	16年下期 予定	16年度 予定	15年上期 実績	15年下期 実績	15年度 実績
売上高	953 (△ 3.5)	1,047 (2.9)	2,000 (△ 0.2)	987 (△ 44.3)	1,017 (△ 5.7)	2,004 (△ 29.7)
営業利益	103 (34.1)	182 (44.3)	285 (40.4)	77 (8.9)	125 (3.2)	202 (5.3)
経常利益	101 (55.0)	169 (52.6)	270 (53.5)	65 (8.9)	110 (△ 8.7)	175 (△ 2.8)
当期純利益	81 (-)	99 (98.3)	180 (717.1)	△ 27 (-)	49 (△ 0.5)	22 (△ 62.7)

()内 対前年UP%

< 単体 >

(単位億円)

	16年上期 実績	16年下期 予定	16年度 予定	15年上期 実績	15年下期 実績	15年度 実績
売上高	854 (△ 5.0)	966 (3.5)	1,820 (△ 0.7)	899 (△ 2.8)	933 (△ 5.4)	1,832 (△ 4.1)
営業利益	78 (40.5)	167 (57.4)	245 (51.5)	55 (△ 0.1)	105 (24.8)	161 (14.9)
経常利益	84 (53.5)	166 (66.3)	250 (61.7)	55 (△ 3.0)	99 (6.5)	154 (2.9)
当期純利益	70 (-)	100 (117.5)	170 (1173.4)	△ 32 (-)	45 (77.7)	13 (△ 61.3)

()内 対前年UP%

② 主な連結子会社の業績

〈シオノギクオリカプス〉

(単位百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
16年上期実績	2,791	469	468	270
15年上期実績	2,825	522	525	294
(UP率%)	(△ 1.2)	(△ 10.2)	(△ 10.9)	(△ 8.2)
16年度予定	5,920	900	900	550
15年度実績	5,902	1,010	1,005	520
(UP率%)	(0.3)	(△ 10.9)	(△ 10.4)	(5.8)

〈海外カプセル3社〉

(単位百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
16年上期実績	3,391	471	425	226
15年上期実績	3,371	208	208	114
(UP率%)	(0.6)	(126.4)	(104.3)	(98.2)
16年度予定	6,300	500	450	250
15年度実績	6,085	240	10	△ 168
(UP率%)	(3.5)	(108.3)	(4400.0)	(-)

〈武州製薬〉

(単位百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
16年上期実績	2,164	245	203	203
15年上期実績	1,983	165	76	76
(UP率%)	(9.1)	(48.5)	(167.1)	(167.1)
16年度予定	4,200	430	350	300
15年度実績	4,118	481	322	265
(UP率%)	(2.0)	(△ 10.6)	(8.7)	(13.2)

③ 連単倍率

	16年上期 実績	16年下期 予定	16年度 予定	15年上期 実績	15年下期 実績	15年度 実績
売上高	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
営業利益	1.3	1.1	1.2	1.4	1.2	1.3
経常利益	1.2	1.0	1.1	1.2	1.1	1.1
当期純利益	1.1	1.0	1.1	-	1.1	1.7

④連結子会社及び持分法適用会社一覧表

<連結子会社15社>

No.	会社名	所在地	資本金	事業内容	設立年月日	決算期	所有割合 間接所有含
1	シオノギオリカプス㈱	奈良県大和郡山市	400百万円	カプセル製造販売	1965年4月26日	3月31日	100
2	武州製薬㈱	埼玉県川越市	1,000百万円	医薬品製造受託	1998年8月3日	3月31日	100
3	日亜薬品工業㈱	徳島市	200百万円	医薬品原薬製造	1976年8月24日	3月31日	75
4	オオモリ薬品グループ本社㈱	大阪市中央区	2,634百万円	資産管理	1963年8月19日 (新会社 1998年7月1日)	3月15日	100
5	㈱最新医学社	大阪市中央区	90百万円	医薬関連図書出版	1998年12月21日	3月31日	100
6	シオノギエンジニアリング サービス㈱	兵庫県尼崎市	20百万円	医薬品製造機器 保守点検	1992年11月2日	3月31日	100
7	シオノギ物流サービス㈱	大阪市中央区	10百万円	倉庫、運送サービス	1985年5月21日	3月31日	100
8	シオノギ総合サービス㈱	大阪市中央区	10百万円	旅行業、保険代理	1992年11月2日	3月31日	100
9	油日アグリサーチ㈱	滋賀県甲賀郡	10百万円	植物薬品試験受託	2004年2月26日	3月31日	* 100
10	台湾塩野義製薬(股)	中華民国台北市	92百万台湾元	医薬品製造販売	1963年12月26日	12月31日	100
11	シオノギヨーロッパB.V.	オランダ アムステルダム市	35,910千ユーロ	持株会社	1992年6月17日	12月31日	100
12	シオノギオリカプスINC.	米国 ノースカロライナ州	31百万米ドル	カプセル製造販売	1992年6月10日	12月31日	* 100
13	シオノギオリカプスS.A.	スペイン マドリッド州	15,626千ユーロ	カプセル製造販売	1992年9月10日	12月31日	* 100
14	シオノギUSA, INC.	米国デラウェア州	10,000千米ドル	医薬開発受託業務 医薬品販売	2001年2月15日	12月31日	100
15	SGホールディング, INC.	米国デラウェア州	60米ドル	持株会社	2001年9月27日	12月31日	100

<持分法適用会社1社>

No.	会社名	所在地	資本金	事業内容	設立年月日	決算期	所有割合 間接所有含
1	シオノギ・グラクソミスクライン ホールディングLP.	英領西インド諸島 ケイマン島	-	持株会社	2001年10月19日	12月31日	* 50.0

* 間接所有含む

⑤ セグメント別売上高

〈 連 結 〉

(単位億円)

	16年上期 実績	16年下期 予定	16年度 予定	15年上期 実績	15年下期 実績	15年度 実績
医薬品及びその関連する事業	871	978	1,849	904	949	1,853
医療用医薬品	799	890	1,689	846	889	1,735
一般用医薬品	31	35	66	35	33	68
診断薬	18	17	35	20	18	38
工業所有権等使用料収入	23	36	59	3	9	12
カプセル事業	59	56	115	59	55	114
その他の事業	23	13	36	25	13	38
工業薬品	0	0	0	10	0	10
不動産賃貸、その他	23	13	36	15	13	28
合 計	953	1,047	2,000	987	1,017	2,004

〈 単 体 〉

(単位億円)

	16年上期 実績	16年下期 予定	16年度 予定	15年上期 実績	15年下期 実績	15年度 実績
医薬品及びその関連する事業	854	966	1,820	889	934	1,823
医療用医薬品	782	878	1,660	832	873	1,705
一般用医薬品	31	35	66	35	33	68
診断薬	18	17	35	20	18	38
工業所有権等使用料収入	23	36	59	3	9	12
工業薬品	0	0	0	10	0	10
合 計	854	966	1,820	899	933	1,832

⑥ 主要製品売上高〈単体〉

医療用医薬品

(単位億円)

品名	英名	分類	16年上期 実績	16年下期 予定	16年度 予定	15年上期 実績	15年下期 実績	15年度 実績	
医療用医薬品 計			782	878	1,660	832	873	1,705	
〔上位10品目〕									
1	フロモックス	Flomox	経口用セフェム系抗生物質製剤(自社)	143	200	343	150	195	345
2	フルマリリン	Flumarin	注射用オキサセフェム系抗生物質製剤(自社)	90	85	175	99	94	193
3	塩酸バンコマイシン	Vancomycin	グリコペプチド系抗生物質製剤	84	80	164	95	87	182
4	リンデロン等外用	Rinderon	皮膚外用合成副腎皮質ホルモン剤	55	49	104	54	47	101
5	イムネース	Imunace	遺伝子組換え型インターロイキン2製剤	54	57	111	46	49	95
6	MSコンチン	MS Contin	持続性癌疼痛治療剤	32	31	63	40	37	77
7	ロンゲス	Longes	アンジオテンシン変換酵素阻害剤	26	25	51	29	28	57
8	クラリテン	Claritin	アレルギー性疾患治療剤	24	50	74	21	34	55
9	ケフラル	Kefral	経口用セフェム系抗生物質製剤	21	23	44	25	24	49
10	ドブトレックス	Dobutrex	急性循環不全改善剤	16	19	35	20	19	39
〔主要品目〕									
	ベリチーム	Berizym	消化酵素剤	14	14	28	14	14	28
	ブロアクト	Broact	注射用セフェム系抗生物質製剤	13	15	28	15	14	29
	リスミー	Rhythmy	睡眠誘導剤(自社)	13	12	25	13	12	25
	オキシコンチン	Oxycontin	持続性癌疼痛治療剤	12	18	30	2	7	9
	ランデル	Landel	持続性Ca拮抗剤	10	12	22	11	10	21
	PL顆粒	PL Granules	総合感冒剤	9	20	29	10	20	30
	ウルグート	Ulgut	胃炎・胃潰瘍治療剤	7	6	13	7	7	14
	アクブラ	Aqpla	抗悪性腫瘍剤(自社)	6	6	12	6	6	12
	塩酸モルヒネ注	Morphine-hydrochloride	疼痛治療剤	6	6	12	6	6	12
	SG顆粒	SG Granules	解熱鎮痛剤	3	3	6	2	2	4
	セフチブテン(輸出)	Ceftibuten	経口用セフェム系抗生物質製剤(自社)	5	6	11	15	8	23
〔新製品〕									
	クレストール	Crestor	高脂血症治療薬	-	-	-	-	-	
	酢酸セトロレリクス	Cetrorelix	早発排卵防止薬	-	-	-	-	-	

一般用医薬品

(単位億円)

品名	英名	分類	16年上期 実績	16年下期 予定	16年度 予定	15年上期 実績	15年下期 実績	15年度 実績	
一般用医薬品 計			31	35	66	35	33	68	
	セデス類	Sedes	解熱鎮痛薬	13	16	29	16	14	30
	ポボンS	Popon-S	総合ビタミン剤	5	7	12	7	6	13

⑦ 設備投資・減価償却費

(単位億円)

	15年上期 実績	15年下期 実績	15年度 実績	16年上期 実績	16年下期 予定	16年度 予定
連結 設備投資額	29	29	58	26	37	63
連結 減価償却費	46	50	96	45	49	94
単体 設備投資額	22	27	49	23	30	53
単体 減価償却費	38	41	79	37	40	77

(単位億円)

<主な工事名>	予算 総額	16年3月 までの実績	16年上期 実績	16年下期 予定	16年度 予定
S-4661製造設備	20	7	5	8	13

⑧ 研究開発費

(単位億円)

	15年上期 実績	15年下期 実績	15年度 実績	16年上期 実績	16年下期 予定	16年度 予定
連結 (対売上高比率)	146 (14.8%)	152 (14.9%)	298 (14.9%)	158 (16.5%)	159 (15.2%)	317 (15.9%)
単体 (対売上高比率)	144 (16.0%)	151 (16.2%)	295 (16.1%)	157 (18.4%)	158 (16.4%)	315 (17.3%)

⑨ 従業員数

	15年3月末 実績	15年9月末 実績	16年3月末 実績	16年9月末 実績	17年3月末 予定
連結	人 6,149	人 6,153	人 5,589	人 5,611	人 5,510
単体	4,744	4,783	4,334	4,350	4,260

⑩ 開 発 品

(2004年11月1日現在)

<国内開発品>

ステージ	開発No.	起源・開発方法・一般名・申請	薬 効 ・ プロフィール
承認	塩酸バンコマイシン	導入 イーライリリー社(米) Eli Lilly and Company 一般名: 塩酸バンコマイシン, Vancomycin 2004年10月22日承認(日本イーライリリー社)	抗菌薬 グリコペプチド系抗生物質。ペニシリン高度耐性肺炎球菌による敗血症、肺炎、髄膜炎治療薬への適応拡大(点滴静注)。(MRSA感染症については既に市販)。オーファン指定。
申請中	NS75A	導入 ゼンタリス社(独) Zentaris AG 共同開発 日本化薬 一般名: 酢酸セトロレリクス, Cetrorelix 2000年12月申請	体外受精/胚移植施行時における早発排卵防止薬 LHRH(下垂体性腺刺激ホルモン分泌ホルモン)拮抗薬(注射)。海外データおよびブリッジング試験を利用して申請。欧米では承認済。
	SR47436	導入 サノフィ・サンテラボ社(仏) Sanofi Synthelabo 共同開発 ブリストル製薬 一般名: イルベサルタン, Irbesartan 2002年10月申請	降圧薬 アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬(経口)。糖尿病性腎炎適応承認(欧米)。心不全第Ⅲ相 実施中(欧米)。プロドラッグでなく活性体。ACE阻害薬で問題となっている空咳が抑えられ、薬物相互作用の少なさが期待される。
	S-4661	自社 一般名: ドリペネム, Doripenem 2003年9月申請	抗菌薬 カルバペネム系抗生物質(静注)。抗菌スペクトラムが広い(グラム陰性・陽性、緑膿菌)。腎毒性が低く、中枢作用(痙攣)が他剤と比べて少ない。
	S-8116	導入 ムンディファーマ社(オランダ) Mundipharma AG 一般名: 塩酸オキシコドン, Oxycodone 2004年5月申請	癌疼痛治療薬 塩酸オキシコドン速放製剤(経口)。徐放性製剤については2003年4月16日承認取得。
	SCH29851	導入 シェリング・プラウ社(米) Schering-Plough 共同開発 シェリング・プラウKK 一般名: ロラタジン, Loratadine 2004年9月申請(シェリング・プラウKK) (小児効能拡大・剤形追加)	アレルギー性疾患治療薬 ヒスタミンH1受容体拮抗薬。小児のアレルギー性鼻炎及び皮膚疾患(アトピー性皮膚炎、湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症)に伴うそう痒への適応拡大(経口)。慢性蕁麻疹、アレルギー性鼻炎、皮膚疾患(湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症)に伴うそう痒の治療薬として既に市販。
フェーズⅢ	LY248686	導入 イーライリリー社(米) Eli Lilly and Company 一般名: 塩酸デュロキセチン, Duloxetine 2001年11月申請 2007~2008年に再申請予定	抗うつ薬 SNRI(セロトニン・ノルエピネフリン再取り込み)阻害薬(経口)。外国の用法・用量を考慮して、本薬の最大限の有効性を確認するために高用量で追加試験を実施。
	S-7701	導入 マルナック社(米) Marnac, Inc. 一般名: ピルフェニドン, Pirfenidone 2002年12月申請 2006年に再申請予定	特発性間質性肺炎治療薬 抗線維化剤(経口)。他の線維化疾患へ拡大できれば大きな市場も期待。オーファン指定。
フェーズⅡ	S-6820	導入 バイオジェン社(米) Biogen, Inc. 一般名: テセロイキン, Teceleukin 商品名: イムネース	抗癌薬 遺伝子組換え型インターロイキン-2製剤。大腸癌肝転移への適応拡大(注射)。血管肉腫、腎癌については既に市販。
	NS75A	導入 ゼンタリス社(独) Zentaris AG 共同開発 日本化薬 一般名: 酢酸セトロレリクス, Cetrorelix	子宮筋腫治療薬 LHRH(下垂体性腺刺激ホルモン分泌ホルモン)拮抗薬(注射)週1回製剤。前期第Ⅱ相終了。

フェーズ I 準備中	S-0373	自社	脊髄小脳変性症改善薬、パーキンソン病治療薬 TRH誘導体(経口)。脳内移行が良く薬効持続時間が長い。国内、海外での開発予定。
	NS75B	導入 ゼンタリス社(独) Zentaris AG 共同開発 日本化薬	前立腺肥大症治療薬 LHRH(下垂体性腺刺激ホルモン分泌ホルモン)拮抗薬 (注射)。4~12週毎に投与するデポ剤。
	EP-013420	導入 エナント社(米) Enanta pharmaceuticals, Inc.	抗菌薬 ケトライド系抗生物質(経口)。

<海外開発品>

ステージ	開発No.	起源・開発方法・一般名・申請	薬効・プロフィール
フェーズ II	S-5751	自社 日本:フェーズ I、米国:フェーズ II	アレルギー性疾患治療薬 プロスタグランジンD2受容体拮抗薬、世界初。
	S-3304	自社 米国:フェーズ II	抗悪性腫瘍薬 マトリックスメタロプロテアーゼ阻害薬(経口)。殺細胞作用を持たず、癌の増殖・転移を抑制する。安全性が高い。
	S-8921	自社 欧州:フェーズ II a	高脂血症治療薬 胆汁酸再吸収阻害薬(経口)。腸管の胆汁酸トランスポーター阻害。
	S-3013	共同研究・共同開発 イーライリリー社(米) Eli Lilly and Company	抗炎症薬 分泌型ホスホリパーゼA2阻害薬(経口)、世界初。慢性炎症性疾患を対象。
フェーズ I	S-2367	自社 英国, 米国:フェーズ I	抗肥満薬 中枢作動薬(経口)。内臓脂肪の蓄積抑制, 血糖値, 血清脂質の改善。安全性が高く, リバウンドのないことが期待される。肥満者を対象とした反復投与開始。

<シオノギー-GSK>

ステージ	開発No.	開発方法・ステージ	薬効・プロフィール
フェーズ II	S-8510	シオノギー-GSK 日本:フェーズ II、欧州:フェーズ I	抗痴呆薬 血管性痴呆、アルツハイマー型痴呆に薬効が期待できる。ベンゾジアゼピン受容体パーシャルインバースアゴニスト(経口)としての抗痴呆薬は世界初。アセチルコリン系、モノアミン系機能亢進による脳賦活作用を示す。
	S-0139	シオノギー-GSK 日本:フェーズ II a、欧州:フェーズ I	脳血管障害治療薬 急性期脳梗塞の適応は世界初。エンドセリンA受容体拮抗薬(注射)。

<導出品>

開発No.・導出先	導出年月・ステージ	薬効・プロフィール
S-4522 英国アストラゼネカ社へ導出 AstraZeneca, UK	1998年4月導出 一般名: ロスバスタチン, Rosuvastatin 2001年6月申請(日本を除く世界) 2002年4月申請(日本) 64カ国で承認取得済	高脂血症治療薬 HMG CoA 還元酵素阻害薬(経口)。ゼネカ開発No. ZD-4522/スーパースタチン
S-1153 米国ファイザー社へ導出 Pfizer, USA	1998年6月導出 フェーズII実施中 一般名: カプラビリン, Capravirine	抗エイズ薬 非核酸型逆転写酵素阻害薬(経口)
S-4661 米国ペニンシュラ社へ導出 Peninsula, USA	2003年5月導出 フェーズIII実施中 一般名: ドリペネム, Doripenem	抗菌薬 カルバペネム系抗生物質(静注)

<導入品>

BAY12-8039 バイエル薬品より導入 Bayer Yakuhin, Japan	2003年10月導入 一般名: モキシフロキサシン, Moxifloxacin 2002年9月申請(日本)(バイエル薬品)	抗菌薬 ニューキノロン系抗菌薬(経口)
--	---	------------------------

<中止>

S-3536	中止するが今後も引き続き後継品の開発を進める
--------	------------------------

2004年7月発表時からの変更点

中止	S-3536
開発段階 変更	塩酸バンコマイシン: 申請中→承認 SCH29851: 申請準備中→申請中
その他の 記載変更	S-2367: 「肥満者を対象とした反復投与開始」を追加 S-4522: 承認国数変更(54→64) BAY12-8039: 新規記載